

真田山周辺生き物調査報告書 コース No.14(B)

報告者:北川ちえこ

日時:2015年7月26日(日)10:00~12:30 晴れ

調査者:北川ちえこ、中谷憲一、中道陽子、堀田サダ、梶元慶子、松川欣二(6名)、一般参加者(0名)

事務局:山下元代

コース:JR「玉造駅」~宰相山西公園~旧真田山陸軍墓地~宰相山公園~真田山公園・マップ No.1

今年はメンバーの入れ替わりがあったのも原因の一つか、今年がそういう年なのか脱け殻の数は大変少なかったです。アブラゼミや、ニイニゼミの確認ができたのは良かったです。過去参加されていた親子のご両親が出発前に来られ、大きくなった娘さん達の話聞き、放射温度計であちこち計っている姿を思い出すと共に、忘れずにわざわざ来て下さったことが大変うれしく思いました。この報告書を校正していただいている塩路さんも、この親子のことは懐かしく思われると思います。小学生だった子が大人になり忘れずにいるということ、調査をはじめた頃には考えもしなかった事です、続けていることが次に繋がることを実感しました。休憩時に差し入れていただいたお菓子をいただいたのも、うれしさ一塩で、今年も暑い半日を思いで深く終了しました。

植物、昆虫等虫類、鳥の状況を数字で表示します。

1:葉、卵 2:花、幼虫、幼鳥 3:果実、蛹 4:実生、成虫、成鳥 0:その他 植:植栽

※樹木は花や果実のあるもの、又は特筆すべき種のみ記録しました。

メッシュ No.の後の()内は旧みどり生き物会議で使用したメッシュ番号です。

メッシュ No.523504023(465)

JR 玉造駅~宰相山西公園

アオイ科…ムクゲ 2(植)

イネ科…エノコログサ 2

キク科…ヒロハホウキギク 1

ヒユ科…ホナガイヌビユ 2

宰相山西公園 10:00(気温 31.4℃)~10:20(33.7℃)

セミ脱け殻採集(砂地が多く乾燥)

アカネ科…ヘクソカズラ 1

アブラナ科…マメゲンバイナズナ 3

イグサ科…クサイ 3

イチョウ科…イチョウ 1(植)

イネ科…イヌムギ 2、オヒシバ 2、カゼクサ 2、

シマスズメノヒエ 2、ニワホコリ 2、メヒシバ 2

オオバコ科…オオバコ 1

オシロイバナ科…オシロイバナ 1

カキノキ科…カキノキ 3(植)

カタバミ科…カタバミ 2

カヤツリグサ科…クグガヤツリ 2、ハマスゲ 2

キク科…ウラジロチチコグサ 2、オニタビラコ 2、

セイヨウタンポポ 2、チチコグサモドキ 2、ノゲシ 1、ヨモギ 1

サクランウ科…コナスビ 1

ツユクサ科…ムラサキツユクサ 2(植)

ヒユ科…ヒナタイノコズチ 1、ホナガイヌビユ 2

マメ科…シロツメクサ 2



宰相山西公園 150726 撮影 北川ちえこ



宰相山西公園 150726 撮影 北川ちえこ

モクセイ科…トウネズミモチ 3(植)
 動物…アオスジアゲハ 4、アカホシテントウ 4、アゲハチョウ 4、
 ウスバキトンボ 4、キンバエの一種 4、クマゼミ 4、
 クロヤマアリ 4、セグロアシナガバチ 4、ツマグロヒョウモン 4、
 ヤマトシジミ 4

旧真田山軍人墓地 10:40(33.9℃)～11:00(34.0℃)
 セミ脱け殻採集(刈り込み後の草地)

アオイ科…ムクゲ 2(植)
 アカネ科…ヘクソカズラ 1
 アカバナ科…コマツヨイグサ 2
 アブラナ科…マメグンバイナズナ 2,3
 イグサ科…クサイ 3(多い)
 イネ科…エノコログサ 2、シマスズメノヒエ 2、チヂミザサ 1、
 メヒシバ 2
 カタバミ科…オッタチカタバミ 2
 キク科…アレチノギク 2、ウラジロチチコグサ 2、
 オオアレチノギク 2、チチコグサモドキ 2、ヒメムカシヨモギ 1
 クルミ科…シナサワグルミ 3(植)
 サクラソウ科…コナスビ 1
 センダン科…センダン 4
 バラ科…ウメ 3(植)、トキワサンザシ 3、ハナカイドウ? 3(植)
 ヒユ科…ヒナタイノコズチ 1
 マメ科…シロツメクサ 2
 ミカン科…ミカン sp2
 メギ科…ナンテン 3
 動物…ハシブトガラス 0 声、アオスジアゲハ 4、アオメアブ 4、アゲハチョウ 4、カナブン 4、クマゼミ 4、クロヤマアリ 4、
 ショウリョウバッタ 4、セグロアシナガバチ 4、
 ツマグロヒョウモン 4、トビイロケアリ 4、ハリブトシリアゲアリ 4、
 マツカレハ 0 羽化後の繭、ヤマトシジミ 4



宰相山西公園 150726 撮影 北川ちえこ



旧真田山陸軍墓地:アキニレが多く、そこにはいつもたくさん蝉の脱け殻が着いていますが、その場所でも今年は少なかったです。

150726 撮影 北川ちえこ

宰相山公園 11:20(上・33.8℃)～11:40(下・34.3℃)セミ脱け殻採集(下の公園は風通しが悪い)

アブラナ科…マメグンバイナズナ 3
 イチョウ科…イチョウ 3(植)
 イネ科…エノコログサ 2、チヂミザサ 1
 カタバミ科…オッタチカタバミ 1
 キク科…ウラジロチチコグサ 2
 キョウチクトウ科…キョウチクトウ 2(植)
 メギ科…ナンテン 3
 動物…キジバト 4、スズメ 4、ハシブトガラス 0 声、
 アブラゼミ 4,0 翅、アゲハチョウ 4、クマゼミ 4、
 クロヤマアリ 4、シオヤアブ 4、セグロアシナガバチ 4、
 ニイニイゼミ 0 声、ホソヘリカメムシ 4、ヤマトシジミ 4



宰相山公園上:この大木もアキニレでたくさん見つかる場所の一つです。

150726 撮影 北川ちえこ



アブラゼミの翅 150726 撮影 北川ちえこ



宰相山公園下:差し入れのお菓子をいただき休憩しました。150726 撮影 北川ちえこ

宰相山公園東歩道 11:45 気温 33.0°C

★放射温度

1. アスファルト舗装面…62.5°C
2. アスファルト舗装面白線…48.5°C
3. 鉄製マンホール…62°C
4. マンション玄関タイル日陰…35°C
5. マンション玄関タイル日なた…58.5°C
6. 植栽葉面(オタフクナンテン)…36.5°C
7. 植え込み上面…37.5°C
8. 植え込み土壌面…28.5°C
9. 玄関門吹き抜け日陰…50°C
10. 玄関門吹き抜け日なた…59°C
11. 玄関溝上の鉄板…71°C
12. 道路コンクリ防水シートの上…57°C
13. 白色石畳(真田山公園前車道)…50°C
14. 赤レンガ石畳(真田山公園入口歩道)…53.5°C
15. 大理石(真田山公園入口)…39.5°C
16. 真田山公園草地日なた…41°C
17. 真田山公園草地日陰…26.5°C

(番外)服の上から

松川さん…33.5°C、中道さん…34°C、山下さん…35°C



放射温度測定場所は矢印のコース上



6番 150726 撮影 北川ちえこ



14,15 番 150726 撮影 北川ちえこ



10 番 150726 撮影 北川ちえこ

メッシュ No.523504021 (494)

真田山野球場東側歩道

イネ科…メヒシバ 2

キク科…ウラジロチチコグサ 1

動物…スズメ 4、ドバト 4、セグロアシナガバチ 4

真田山公園 12:10(北入口気温 35.7℃)

～12:30(野球場南気温 33.9℃)

セミ脱け殻採集 (最後に西風が吹き抜けた)

イネ科…イヌムギ 2、オヒシバ 2、

カモジグサ 1(立枯れ)、ギョウギシバ 2、

シマスズメノヒエ 2、メヒシバ 2

オオバコ科…オオバコ 1

オシロイバナ科…オシロイバナ 1

キク科…アレチノギク 2,3、チチコグサモドキ 2

ナス科…イヌホオズキ 2,3

バラ科…ウメ 3(植)

ヒユ科…ヒナタイノコズチ 1

フサシダ科…カニクサ 1

マメ科…シロツメクサ 2

ミソハギ科…サルスベリ 2(植)

動物…スズメ 4、ウスバキトンボ 4、クマゼミ 4、

シラホシハナムグリ 4、セグロアシナガバチ 4、

マツカレハ 0 羽化後の繭

メッシュ No.523504012 (493)

アカザ科…シロザ 1

アブラナ科…マメグンバイナズナ 2,3

イネ科…イヌムギ 2、オヒシバ 2、カゼクサ 2、メヒシバ 2

カタバミ科…オッタチカタバミ 3

キク科…アレチノギク 2、オオアレチノギク 2、

チチコグサモドキ 2、ヨモギ 1

トベラ科…トベラ 3(植)



16 番 150726 撮影 北川ちえこ



オッタチカタバミ:
シャリンバイを越えて出てきていました。

150726 撮影 北川ちえこ

ナス科…イヌホオズキ 2,3
 バラ科…シャリンバイ 3(植)
 マメ科…シロツメクサ 2
 ミソハギ科…サルスベリ 2(植)
 動物…スズメ 4、アオスジアゲハ 4、アゲハチョウ 4、
 クマゼミ 4、トモンハナバチ 4、ハリブトシリアゲアリ 4、
 フタモンアシナガバチ 4、モンシロチョウ 4

コメント

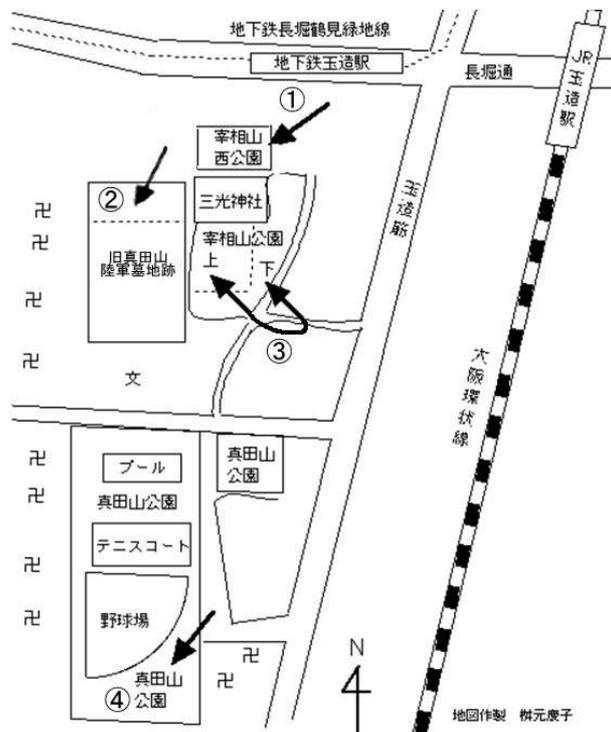
・あのお子様、大人になられるということは我々は老人になった
 ということね。小さいときにやっていたことが、きっと人生の糧にな
 っていることでしょう、なんかいいことをした気がしますね。でも、
 お母さんが偉かったのでしょう。ニイニイゼミがいたのですね、
 喜ばしきかな。放射温度、すごいですね。暑い中の調査、お疲
 れさんでした。(塩路)



蝉の脱け殻(アレチノギクやヨモギに):
 草にもしがみついていた。
 150726 撮影 北川ちえこ



正午近くは、クマゼミは昼寝
 撮影 梶元慶子



真田山周辺セミの脱け殻調査場所 ①②③④

セミの脱け殻調査とは…

大阪市内で、クマゼミが増え、アブラゼミが減っていると、よくいわれます。

大阪市内の生き物調査として、地球館パートナーシップクラブが、1999年に生玉公園・生國魂神社で調査を始め、大阪市エコボランティアによる調査に移行して現在に至るまで、毎年7月下旬に、真田山周辺4カ所でのセミの脱け殻を集めています。

それぞれの場所で、エリアを限定して(右図)、各調査時間 20 分、脱け殻を集めます。集めた抜け殻は、場所ごとに、セミの種別のほか、雌雄の別に分類して計数します。

ただ計数は、猛暑の調査当日ではなく、今年の ECO 縁日のブースで、見分け方を教えながら、来場者と計数する予定です。計数や展示のお手伝い、よろしく願いいたします。

表 各採取場所における気温測定結果

2015年7月26日	開始時刻	気温℃	終了時刻	気温℃	備考
①宰相山西公園	10:00	31.4	10:20	33.7	砂地が多く乾燥
②真田山陸軍墓地	10:40	33.9	11:00	34.0	刈り込み後の草地
③宰相山公園(三光神社)	11:20 上	33.8	11:40 下	34.3	下の公園は 風通り悪い
④真田山公園	12:10 北入口	35.7	12:30 野球場南	33.9*	最後に西風が 吹き抜けた

*10時から正午にかけて、気温が上昇しているが、正午過ぎには、西風が吹き抜けて、やや涼しくなった。



真田山公園グランド南側 150726 撮影 北川ちえこ



集めた脱け殻を大きな袋に入れます。
150726 撮影 北川ちえこ



集めた脱け殻を大きな袋に入れます。
ハトも暑いのでしょうか、日陰に集まってきました 150726
撮影 北川ちえこ



サクラの葉にぶら下がる脱け殻
宰相山西公園 150726 撮影 柘元慶子